

1人1台端末の活用による実践事例

(特別支援学校)

学校名	岡山県立岡山南支援学校	実践者名	松本 武倫
実践場面 (教科、領域、行事等)	生活単元学習		
単元・題材名	グループミッションに挑戦しよう		
学習目標・ねらい	・ クラスルームに送られた4分割になった教師の顔写真を確認することができる。 ・ グループで送られてきた教師の写真を完成させ、名前を発表することができる。		
対象の児童 生徒の実態	小学部6年生 男児8名 女児4名		

活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する

(1) 4名ずつのグループを作り、活動を行う。

(2) 教師の顔が4分割された写真をClassroomにあげ、児童は一人一台端末を使用し、配信された画像を確認する。

(3) 画像データをタップして4分割になった教師の顔写真をそれぞれ確認する。確認した画像をグループ内で共有し、どの教員の写真が送られてきたかをグループで話し合って発表する。



(4) グループでiPadを合わせて送られてきた教師を確認し、発表する。



活用のポイント・改善策等

- ・ グループ編成を行うときに実態に分かれて編成したが、ある程度一人でできる児童をグループ内に1名配置しておけば児童同士で聞いたり、教えたりして協力しながら活動に取り組むことができたと思う。
- ・ 本時ではクラスルームの基礎的な使い方を学習することも目的として行ったため、今後本時で行った手順をもとに課題に取り組んだり、情報を共有したりすることができれば良いと考えている。